

報告事項1 東濃地域自動運転推進事業について

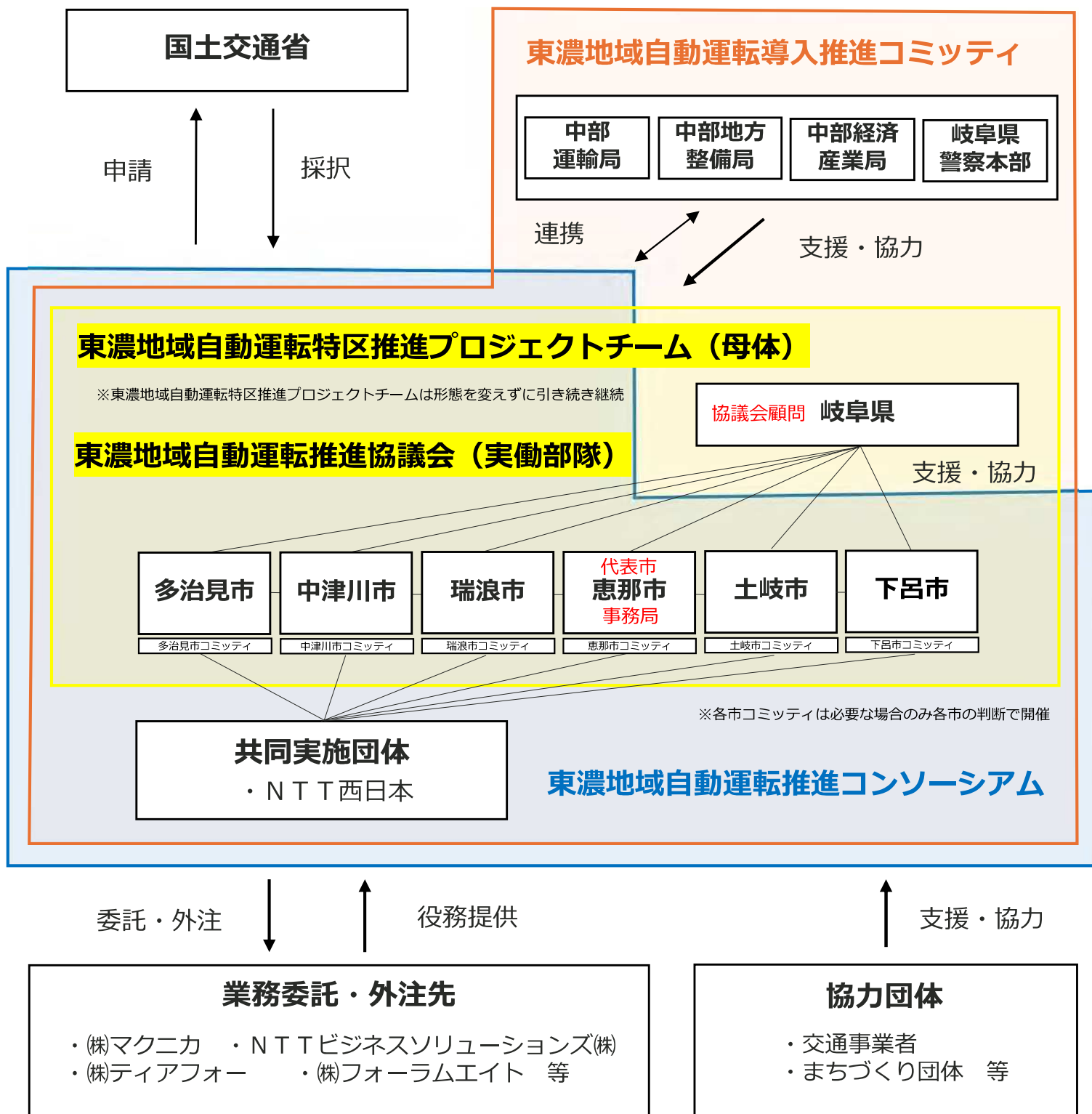
1. 背景

本事業は、既存の公共交通サービスにおける運転手不足や高齢化などの地域交通課題を解決し、高齢者を中心とした住民の移動手段を確保するため、公共交通におけるレベル4自動運転移動サービスを導入するに当たり、東濃地域自動運転推進協議会(多治見市、中津川市、瑞浪市、恵那市、土岐市及び下呂市)と共同実施団体(NTT 西日本)で東濃地域自動運転推進コンソーシアムを設置し、国土交通省「地域公共交通確保維持改善事業補助金(自動運転社会実装推進事業)」を活用して実証運行を行う。

2. 土岐市における実証運行事業の概要

実証運行の期間	令和7年9月28日(日)～10月11日(土)(計14日間) ※9月28日は、土岐市制70周年記念事業「わくわくワークときめきランド」にて市役所敷地内でのデモ走行を行う予定。
運賃	無料 ※実証実験期間中
実証運行ルート	令和7年度:JR 土岐市駅⇄土岐市役所(1日9往復を予定) 途中停留所:中央町、土岐中央橋  ※令和8年度以降は、JR 土岐市駅⇄東濃中部医療センターで実証運行予定。
運行車両	Navya Mobility 社「EVO3」 ハンドル、アクセル、ブレーキがない特別装置自動車 乗車定員:10人※ 最高速度:19km/h※  ※実証運行時の保安基準適合上 令和7年度はレベル2運行のため、車内に乗務員が同乗。

令和7年度「自動運転社会実装推進事業（国交省）」 東濃地域の体制構築について



広域コンソーシアムのメリット

- ①全国的な優良事例
→ 国補助金の重点支援の枠組み
- ②不採択となる市を回避
- ③申請含め実績ある共同実施団体の参画により事業の円滑化・効率化
- ④各市共同での遠隔監視体制の実現
- ⑤乗車申込アプリケーションの共同開発
- ⑥全体事業費の抑制
- ⑦東濃地域自動運転特区実現への第一歩へ等

令和7年度 各市「自動運転」運行・調査ルート

多治見市（ホワイトタウン外周）約5km



中津川市（神坂スマートIC⇔馬籠宿）約3km



瑞浪市（瑞浪駅⇔瑞浪市役所）約2km



恵那市（岩村駅⇔岩村城下町）約4km



土岐市（土岐市駅⇔土岐市役所）約2km



下呂市（下呂駅⇔下呂温泉病院）約5km

